

10/4  
八地申  
第9号

## 2021年度営業関係施策（その2） に関する説明申し入れ

2021年6月4日、八王子支社より「2021年度営業関係施策（その2）」のを受けました。その中で西国分寺駅については「10月31日に出札窓口を閉鎖」「12月1日から駅業務を（株）JR中央線コミュニティデザインへと委託する」という内容が示されました。

そもそも西国分寺駅は準運転取扱駅として指定されており、2014年2月1日にライフサイクル深度化施策による異動対象駅として拡大されて以降15名が運輸のプロとして武蔵野線・中央線の安全・安定輸送を担い、今も5名が業務を行っています。そのことから西国分寺駅が担う運輸・輸送の業務は会社が必要と認めていることであり、今回の業務委託について整合性が取れません。

また、武蔵野線・中央線の乗換駅であるにも関わらず、「重層的でリアルなネットワークであるみどりの窓口」を閉鎖することは、多様なお客さまのニーズに応えることなくJR東日本が提供する限定的なサービスにお客さまを適応させる、お客さま視点から見るとサービスが低下したことになり認められません。

さらに職場では施策の概要のみの説明となっており、施策実施の目的や西国分寺で働く組合員の不安は解消されていません。社員が不安なく業務を行い「西国分寺駅で働いて良かった」と感じられる労働環境の構築が必要です。したがって、下記の通り申し入れを行いました。

1. 西国分寺駅の駅業務全般委託を行なう目的と根拠を明らかにすること。また（株）JR中央線コミュニティデザインを委託先とした根拠を明らかにすること。
2. 西国分寺駅の現在の標準作業ダイヤと要員数、及び駅業務全般委託後の体制と要員数を明らかにすること。また、現在員措置となる作業ダイヤがある場合、明らかにすること。
3. 施策実施に伴う出向や異動の考え方を明らかにすること。
4. 西国分寺駅の駅業務全般委託後の設備、レイアウトについて明らかにすること。
5. 駅業務全般委託にあたり、被管理駅である新小平駅及び新秋津駅との備品購入や管理、起床確認など管理被管理の連携について明らかにすること。また（株）JR中央線コミュニティデザインにおけるエリア・ブロック分けと、西国分寺駅の管理駅について明らかにすること。
6. 西国分寺駅で現在行っている運転関係業務について明らかにすること。また駅業務全般委託後の運行関係の教育、訓練について明らかにすること。
7. 西国分寺駅で現在行っている新秋津駅の線路閉鎖扱いの具体的件数と内容について明らかにすること。また、駅業務全般委託後の取り扱いについて明らかにすること。
8. 西国分寺駅は2014年にライフサイクル深度化施策における異動対象駅とされて以降準運転取扱指定駅として運転関係業務を行っているが、運転関係業務を行わない業務委託となる理由とライフサイクル深度化施策によって異動した社員の駅業務全般委託後の運用について明らかにすること。
9. 西国分寺駅から東所沢駅への管理者の助勤体制について駅業務全般委託後の取り扱いについて明らかにすること。
10. 西国分寺駅は武蔵野線・中央線の乗換駅であるにもかかわらず出札窓口を廃止することによってお客さまにご不便さ感じさせつつ、地域との共存できる理由を明らかにすること。
11. 西国分寺駅ではお体の不自由なお客様の対応を17：30以降業務委託しているが、駅業務全般委託後の取り扱いを明らかにすること。
12. 西国分寺駅をライフサイクル深度化施策による異動対象駅に拡大したことの成果と課題を明らかにすること。

**不安を解消し、働きがいを実感出来る施策を実現させよう！**